

第5期古賀市介護保険運営協議会（平成26年度第2回）会議録

標題の件について、下記のとおり実施したので、古賀市介護保険運営協議会規則第6条に基づき会議録を作成する。

1. 日時 平成26年8月6日（水）19時00分から20時50分まで
2. 場所 サンコスモ古賀 201・202研修室
3. 出席委員 甲斐信博 会長、大久保康裕 委員、波多敬子 委員、
檜山信夫 委員、酒井康江 委員、富安妙子 委員、小林祥子 委員、
矢幡恵美香 委員（8人）
4. 欠席委員 山鹿茂彦 副会長、真木孝夫 委員（2人）
5. 議題
 - (1) 第5期計画の進捗状況について
 - (2) 第3章「計画の基本的な考え方」について
6. 資料
 - 【資料1】 第5期計画の進捗状況について
 - 【資料2】 第3章「計画の基本的な考え方」について
 - 【資料3】 第6期計画における国の指針
 - 【資料4】 第5期と第6期計画の施策体系の比較
 - 【資料5】 平成26年度古賀市介護予防支援業務委託事業所について
 - 【資料6】 認知症高齢者等徘徊SOSネットワーク事業について
7. 署名（規則第6条第2項）

会長	印
会長の指名する出席委員	印

8. 議事の概要

(1) 第5期計画の進捗状況について

介護支援課より、第5期計画の進捗状況について説明。〈資料1〉

【質疑】

○ 計画目標はどのように設定されているのか。

⇒ (回答) 過去の利用者数や高齢者の伸び率等により推定した数値となっている。

○ グループホームが満床とならない理由は把握しているのか。費用面や施設の充足度等の分析が必要と思われる。

⇒ (回答) 費用面、認知症の進行を不安に思う家族の心情等が考えられる。宗像市でも最近2ユニット新設しているが、満床にはなっていない状況と聞いている。満床とならない理由は分析をして、第6期計画でも検討をしていきたい。

○ 「1ページ・第4章高齢者施策の推進・(2) 健診体制の充実・②健康診査」について、受診率が伸びていないようだが、なぜ伸びないのか。また、どうやって受診率をあげていくのか。

⇒ (回答) 医療機関健診、集団検診を行っているが、受診率は伸び悩んでいる。がん検診についてアンケートをとったところ、職場等で受診している人が多く、対象者の40%程度が、がん検診を受診していることがわかった。今後も企業等への呼びかけ等、周知の方法を検討していく。

○ 「2ページ・第4章高齢者施策の推進・(3) 介護予防体制の推進・②介護予防講座」について、目標値との差が大きいのが、なぜか。また、どうやって参加人数を増やしていくのか。

⇒ (回答) 介護予防講座には、サービス事業所が行う出前講座、市が行う生き生き音楽校、脳の健康教室等がある。出前講座のメニューを増やしたこと、平成24年度から生き生き音楽校、脳の健康教室を開始したことから、高い目標を設定していた。しかし、出前講座については広報等でメニューを提示して、受講希望の団体等から申し込んでいただく事業であることもあり、メニューを増やしても申し込みが増えずに、参加者数は目標値ほど伸びなかった。

- 「3 ページ・第4章高齢者施策の推進・(2) 地域による支援体制の充実・②介護支援ボランティア」について、平成24年度から25年度に大幅に登録人数が増加しているのは、なぜか。
⇒ (回答) 平成24年度については、年度途中からの開始のため、平成25年度との比較は難しい。ただ、平成26年度は、すでに131人が登録しており、登録者は伸びている。介護支援ボランティア事業の周知に加え、これまでに登録していた人が別の人を紹介しているのではないかと思われる。

- 「3 ページ・第4章高齢者施策の推進・(2) 地域による支援体制の充実・②介護支援ボランティア」について、登録者の平均年齢はどれくらいか。また、どのような活動を希望する人が多いのか。
⇒ (回答) 65～75歳の登録者が多い。「話し相手」を希望する方が多いが、受入施設では、「皿洗い」や「草取り」などの受入希望が多い。登録者と受入施設のマッチングは今後の課題である。

- 「3 ページ・第4章高齢者施策の推進・(2) 地域による支援体制の充実・②介護支援ボランティア」について、受入施設は増えているのか。
⇒ (回答) 平成24年度は10事業所、平成25年度11事業所、平成26年度は13事業所と、増えている。

- 「3 ページ・第4章高齢者施策の推進・(2) 地域による支援体制の充実・②介護支援ボランティア」について、登録者は全員実働しているのか。
⇒ (回答) 活動回数の差は大きいですが、毎年登録が必要なので、これまでも活動をしている人が登録をしていると思われる。

- 「3 ページ・第4章高齢者施策の推進・(2) 地域による支援体制の充実・②介護支援ボランティア」について、どのくらいの回数の活動をすると、換金できるのか。
⇒ (回答) 年間に10回の活動から換金ができ、換金額は最大5,000円としているが、「仕事」ではなく、「ボランティア」の活動の趣旨から上限を設定している。「仕事」を希望される方にはシルバー人材センターへ登録してもらいたい。

- 「5 ページ・第4章高齢者施策の推進・(2) 介護予防・生きがい支援・①介護予防・生きがい活動支援センター「ゆい」について、利用者が減っているのはなぜか。
- ⇒ (回答) 利用者が固定化し、新しい利用者があまり増えていないことが考えられる。そこで、プログラムがなかった火曜日・木曜日に、今年度からプログラムを実施しているので、平成26年度では成果が出るのではないかと。

- 「5 ページ・第4章高齢者施策の推進・(2) 介護予防・生きがい支援・①介護予防・生きがい活動支援センター「ゆい」について、「ゆい」で学んだことを地域へ広げていくというコンセプトがあるが、その活動についてはこれからか。地域へ活動を広げていく際には、外出促進事業や介護支援ボランティアのようにポイントを付与するような事業を連動できないか。
- ⇒ (回答) 地域へ活動を広げようとする際に、一定のレベル以上のものを目指しているうちに、タイミングを逃している部分もある。今後アプローチの仕方が重要となるだろう。また、ポイント付与の事業との連動については、今後検討していきたい。

- 「5 ページ・第4章高齢者施策の推進・(3) 勤労機会の確保・①シルバー人材センター」について、「ワンコインサービス」事業の内容、その成果はどうか。
- ⇒ (回答) 65歳以上の夫婦世帯、一人暮らしの方を対象に、小さな困りごと（ゴミ出し等）に対応する事業で、30分以内の短時間であれば100円、30分以上1時間以内で500円となっている。シルバー人材センターの登録者が少なくなっていく中で、どのような展開をしていくのかが課題である。まだ始まったばかりの事業で今後も見守っていく。

【意見】

- ◇住宅型有料老人ホームやサービス付高齢者住宅が近隣にも増えてきていることも、グループホームが満床とならない原因だろう。家庭的な雰囲気、認知症ケアもいきとどく等のグループホームの特性について、周知をしてほしい。

- ◇「3 ページ・第4章高齢者施策の推進・(2) 地域による支援体制の充実・③高齢者外出促進事業」については、イベントに来た人には声をかけていて、事業を知らない人へも周知されている。

- ◇「5 ページ・第4章高齢者施策の推進・(3) 勤労機会の確保・①シルバー人材センター」について、ワンコインサービスについての周知をさらにしてほしい。

介護認定者でなくても利用できるところがいいと思う。気軽に利用できるようになってほしい。

(2) 第3章「計画の基本的な考え方」について

介護支援課より、第3章「計画の基本的な考え方」〈資料2〉、第6期計画における国の指針〈資料3〉、第5期と第6期計画の施策体系の比較〈資料4〉について説明。

【質疑】

- 計画を作成するには、現状の把握が必要と思われるが、市民の状況はどれくらい把握できているのか。
⇒ (回答) 世帯構成等は住民基本台帳により把握している。また、生活状況については、アンケート調査結果より把握している。

- 「〈資料2〉39～40ページ・第5期計画の総括」について、「第5期計画で取り組んだこと」、「今後必要なこと」が記載されているが、課題が見えてこない。〈資料1〉にまとめられているように、古賀市にどのような課題があって、その課題に対して必要なことを記載した方がいいのではないか。
⇒ (回答) 検討する。

- 「〈資料2〉41ページ・①高齢者の尊厳の確保」について、リビングウェル等含めての表現となっていると思うが、もっと具体的な表現があってもいいのではないか。自分の最期について口にする人は多いと思う。
⇒ (回答) 検討する。

- 「〈資料2〉41～42ページ・基本理念」について、「高齢者」という表現になっているが、介護保険サービスは2号被保険者(40～64歳)も利用できるので、表現を工夫してほしい。
⇒ (回答) 検討する。

- 「〈資料2〉44ページ・施策体系の概要」について、老人クラブの支援については、記載されないのか。老人クラブは会員数が減っており、活動ができなくなっていると聞く。外出促進事業などのポイントを付与する事業と連動する等、検討してほしい。
⇒ (回答) 「1. 健康づくりと自立した日常生活の支援・③社会参加と生きがいくりの支援」の施策のひとつとして記載予定。老人クラブのない地域もあり、会員の年齢も地域で異なるが、外出促進事業のコアにはなる団体なので、連動させることも検討したい。

- 「〈資料2〉 44 ページ・施策体系の概要」について、変更はないのか。
⇒ (回答) 今後、具体的な施策内容を検討していただく中で、変更したほうがいい場合には、変更する。

【意見】

◇ 「〈資料2〉 42 ページ・⑤利用者本位のサービスの確立」について、利用者自らがサービスを利用できるように、サービスや利用の仕方等の周知をしてほしい。

◇ 認知症の予防や健康維持の面からも、老人クラブ活動などで外に出ることは大切だと思うので、力を入れてほしい。

8. その他

- ・ 議事録について

署名については甲斐会長と富安委員にお願いします。

- ・ 次回開催日程について

今回は平成26年9月3日(水) 19:00～

以上